

・かくれた優良企業

内定獲得へ向けた3つの基本方針

①競争率が低く内定を取りやすい「かくれた優良企業」に絞る

②採用枠が少ないのに志望者が多い職種を避ける

広報宣伝、企画、総務人事などは、採用枠が非常に少ないのに志望者が多い職種です。とくに強い志望理由や優位性がある場合は別として、こうした職種は避けた方がよいでしょう。

③行動力をアピールする

どの企業も、就活学生に強く求めているのは「行動力」です。高い行動力の持ち主であることを採用者に認めてもらえるよう、うまくアピールしましょう。

・人気ランキング企業以外に多くの優良企業がある

四季報の中から、10年間黒字経営で推移してきた堅実企業で、かつ、10年3月期決算で経常利益を100億円以上計上した上場一流化学会社25社を選出したところ、この中に、上記の人気ランキング企業が5社含まれていました。

つまり、この**5社以外に20社の上場一流優良企業がある**ということになります。他の業界も同じで、**人気ランキング企業以外に多くの優良企業があることに着目すべき**でしょう。

・製造業はオススの業界

製造以外の業種では、よほど優れた技術や他と差別化できる優位性がない限り、一度倒産してしまうと販売先、仕入先が離れていき、再建は困難になります（量販店の場合は買収されての再建例が多い）。

しかし、技術に定評ある製造業の場合は、万一倒産しても、同業他社や関連メーカーの支援を受けて再建するケースが多々あります。これまでの設備、技術、人材、販売ルートがそのまま活用できる製造業ならではのことで。

中年期以降は、他社への転職は容易ではありません。**再建のチャンスに恵まれやすい製造業は悪い選択ではないはず**です。

・退職率による業界分類

早期退職率の低い順にランク付けをすると、一般的には次のようになります。

①0～5%台

電力、ガス、鉄道、通信などのインフラ関係や、伝統のある大手製造業。

②6～15%台

大手製造業、商社、銀行、保険会社、大手建設など。

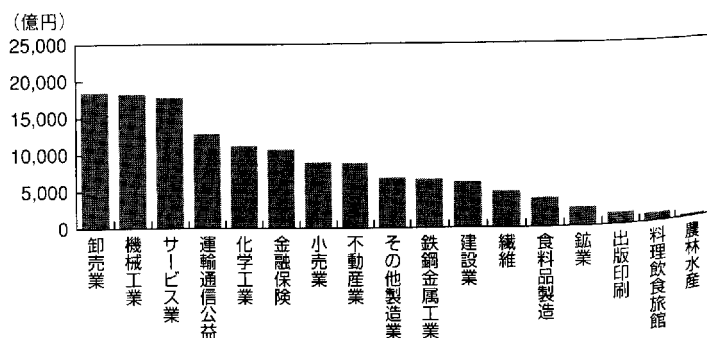
③16～30%台以上

不動産、住宅、自動車販売、コンビニ、スーパー、専門量販店、運送、外食など。流通、サービス関係の業界。

・法人税を払える業界

表をよく分析してみると、機械工業、運輸通信公益、化学工業などの業界は、サービス業や卸売業、小売業に比較し、極端に業者数が少ないのに多額の法人税を支払っていることがわかります（運輸通信公益業界は、この運輸業界のなかに多くの中小トラック・タクシー業者を含み、通信・公益業界の業者数は少ないことに留意）。

これらの業界は「**少数の業者で多額の法人税を支払えるほど利益を計上できる業界**である」ことを示しています。



納付総額では卸売業も多いですが、27万社の法人数の割には法人税額が多いとは言えません。サービス業も納付税額が多いですが、55万社の法人数の割に法人税額は少ないです。小売業、不動産業、建設業も同じく法人数が膨大な割には納税額が少ないです。金融保険業の場合は、バブル崩壊時の金融危機を公的資金導入と企業合併などで乗り切りました。

その後も、とくに世界金融情勢の変化の影響を強く受け、リスクの予測が困難な環境にあるのが難点です。

特筆されることは、メガバンクの三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、みずほ銀行など、日本を代表する銀行でも、バブル崩壊以降、長期間にわたって法人税の支払いを免除されてきた経緯があることです。これは、過去の赤字の繰り越し分をその後の利益で相殺しているためです。

利益を計上し、法人税を支払うことはとても大変なことなのです。

・化学業界の優良企業

化学業界のなかから、不況期でも安定した隠れた優良企業を選びたい

四季報に掲載の化学業界のなかから、次の4条件をクリアした企業をピックアップ

- ① 経常利益が黒字経営で推移 (01~10年)
- ② 経常利益が100億以上 (川年3月期決算)
- ③ 株主持分比率が35%以上
- ④ 営業CFが黒字 (10年、09年の決算で2期以上)

化学業界の「かくれた優良企業」

社名	経常利益 (億円)			株主持分比率 (%)	摘要
	10年	9年	8年	10年	
1 信越化学	1270.2	2505.3	3000.4	80.9	
2 花王	935.7	946.1	1142.2	53.0	
3 旭化成	563.7	325	1204.6	46.3	
4 資生堂	514.9	520.6	650.9	44.9	
5 協和発酵キリン	390予定	464.1	380	79.4	
6 日立化成	365.1	165.2	595	62.9	
7 積水化学	310.8	294.3	385.5	43.4	02年▲
8 関西ペイント	226	145.6	261.2	59.6	
9 JSR	223.8	311	560.6	66.8	
10 ダイセル化学	199.9	82.1	278.6	48.1	
11 イビデン	194.5	34.8	675.7	72.9	
12 宇部興産	190	204	467.1	27.3	○
13 東亜合成	190予定	115.4	110.6	61.5	
14 電気化学	168.9	30.9	299.1	39.4	
15 カネカ	163.4	58.4	338.6	57.6	
16 日本化薬	160.5予定	80.7	114.1	59.4	
17 トクヤマ	153.6	203.6	304	52.4	
18 日本触媒	149.3	7.6	207.5	51.4	
19 東洋インキ	136	24.2	98.3	52.2	
20 日本曹達	129.1	120	107.8	45.9	
21 日本ペイント	128.3	36.5	113	44.6	
22 コーセー	108.3	120.2	148.5	60.6	
23 ライオン	111予定	111.5	76	41.4	
24 ADECA	102.7	61.1	151.9	59.0	
25 中国塗料	102	79	74	45.1	
日本ゼオン	94.5	38.5	206.4	37.2	
日本パーカライジング	90.6	98.3	154.6	53.7	
DIC	190.8	151.9	409.7	13.5	○
三菱ケミカルホールディングス	589.9	▲19.1	1288.9	20.1	○
住友化学	349.6	▲326.2	927.9	24.1	○
昭和電工	260予定	▲223.3	97.9	25.9	○
東ソー	100.8	▲210.9	524.5	22.0	○
三井化学	▲131.3	▲507.7	661.5	30.5	○